

1 協議会での主な意見

(1) 戦略の議論の必要性について

- (ア) 新小樽（仮称）駅に**全便停車していただけるかが一番の課題**である。
- (イ) 速さを売った新幹線が、札幌まで 10 分強で結ばれる新小樽（仮称）駅で停車すると新幹線の利点を潰すことになり、**新駅への新幹線の停車本数は非常に少なくなかなかない**。
- (ウ) 新駅の利用者がいなければ**新幹線は停まってくれない**。新幹線は通っても素通りでは意味がない。
- (エ) 新幹線が**小樽に停まる必然性が必要**。
- (オ) 新駅ができるにあたり、**小樽に魅力がなければ降りてもらえない**。
- (カ) 最終的に J R が停めないとすればそれまでになってしまうのではないかと思う。
- (キ) J R が何を求めて小樽に停めるのかを考えて対策を立てる必要がある。
- (ク) J R に一日の乗降客数の条件を聞いた上で、それを目標にして方策を考えていく必要があるのではないか。

(2) ターゲットについて

① 目的別

- (ア) **観光客だけでは通過駅になる可能性が高い**。
- (イ) 観光利用も多いと思うが、**ビジネス利用も考えられる**と思う。ビジネス利用であれば、どうしても小樽に来なければならぬ必然性があり、かつ利便性を考えて新幹線を使ってもらえる。
- (ウ) **新幹線通勤**のことを議論する必要があると思う。

② 地域別

【出発利用】

- (ア) 倶知安・札幌から 10 分圏内となることから、どのように新小樽（仮称）駅の**優位性を作って乗降客を増やすか**。
- (イ) 倶知安まで高規格道路が開通すれば、**北後志の方々**は倶知安から新幹線を利用する可能性がある。**新駅に誘導する工夫が必要**。
- (ウ) 駐車場の整備により利便性を高め、札幌市の**手稲区、西区の方々**に利用してもらう。
- (エ) 新幹線ができて、**札幌と小樽の関係**がどうなるか。首都圏では、通勤に新幹線が使われている。

【到着利用】

- (ア) 北海道新幹線の札幌延伸でまだ何人来るかわからない状況でも**東北の方々はいろいろ考えている**。
- (イ) **東北方面の観光客**をどのように見込んでいるのか。北海道との交流が増えていくと思うので、考慮されているのか。
- (ウ) 海外から見た典型的な日本といえば、**東北では岩手の平泉や仙台の青葉城跡**などあり、ニセコのインバウンド客がそちらに流れる危険性がある。
- (エ) 札幌と首都圏の間的小樽ということだと思うが、むしろ**道南とか東北地域といった途中同士の結びつき**、観光にしてもビジネスにしてもそれが需要の掘り起こしになると感じている。

③ その他

- (ア) 冬になると飛行機や JR（在来線）は止まることが多いが、新幹線ではそのようなことはない。**冬季の利用客数を増やさなければ、新駅に全便停車してもらえない**。

(3) 駐車場の整備について

- (ア) **駐車場台数を考えるときに想定利用者数にあわせて議論するのではなく、いかに利用者を高めていけるかを考えて議論する必要がある**。札幌の**西区、手稲区の 2030 年の人口も考慮すべき**である。
- (イ) 駐車場について、**高速道路や新幹線の高架下を活用できないか**。
- (ウ) 駅前に駐車場の台数が確保できなかった場合、**代替の駐車場を用意することも検討する必要がある**と思う。

(4) その他

- (ア) **新しい産業を生むようなことも観光と両立して考えていく必要があるのではないか**。
- (イ) **2 次交通と連動しなければ意味がない**。
- (ウ) **MaaS**（タクシー、バスを含めた予約・決済が可能だというシステム）の活用。
- (エ) 通勤利用のための**住宅の誘致**。新幹線駅のそばに公営住宅を建てるという北海道の方針が出ている。
- (オ) 住宅にほかにも**別荘地、保養地**といった、**滞在観光、別荘観光も含めた産業振興も**考えていくべきでないか。
- (カ) **貨物新幹線**を考えるべき。例えば、農産物以外にも書籍などパレットで出し入れするようなもの。
- (キ) **函館空港を国際化して連携を図る**。
- (ク) 北陸新幹線のローカル新幹線のように、**新青森駅と札幌駅の間だけを頻繁に走らせる**。
- (ケ) **ふるさと納税制度（返戻品）**を新幹線の活用につなげられないか。
- (コ) 他にはない**自然を生かした新駅周辺の環境整備が必要**。

(参考) 第 3 回協議会における J R 北海道の意見

- (ア) 東京・札幌間を 4 時間半で結びたいと思っており、現在その車両開発を進めている段階で、新幹線の札幌延伸時のイメージは、まだ話できるまで固まっていない。
- (イ) 新幹線全体の需要がどのくらいなので、その需要に対して 1 日何往復運転するのか、必要な駅員は何人か、それらが見えていないうちは、個別の駅のことはお話できない。
- (ウ) 新幹線を使った通勤・通学に関しては、他の自治体でも勉強されているところはある。
- (エ) 貨物新幹線に関しては、別の自治体から貨物新幹線の積替基地を誘致したいというお話をいただいたことがあるが、国の事業となる上、かなりの面積とそのアクセス道路の管理が必要になる。貨物新幹線から在来線の貨物列車に接続したいという話もあったが、新幹線駅に在来線の引込み線をどうするかに加えて、こちらについてもかなり面積が必要となる。